



2024年1月30日

各位

会社名 東海染工株式会社
代表者名 代表取締役社長 鷲 裕一
コード番号 3577 東証スタンダード市場
名証プレミアム市場
問合せ先 取締役管理部長 河西 勝
(TEL 052-856-8141)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2024年1月30日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社グループの現状分析、改善に向けた方針・目標、具体的な取り組みについて、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社グループの現状分析

当社グループの2023年3月期に於けるROICは0.57%となっております。一方、株主資本コストは2.29%程度となっており、株主資本コストに見合った収益を確保出来ておりません。

市場評価についてもPBRは0.57倍となっており、株価は割安であると言えます。

PBR1倍割れの主要因は、当社グループが継続的に安定した収益を確保できていない結果であり、利益率も低くROE・ROICが十分に株主資本コストを上回っていないことであります。また、当社グループの事業戦略について、株主や投資家の皆様の理解を十分に得ることが課題であると分析しております。

【連結経営指標等】

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高（百万円）	14,507	14,010	10,624	11,142	13,057
営業利益（百万円）	752	617	△148	73	51
経常利益（百万円）	806	604	△69	115	189
当期純利益（百万円）	409	△551	△174	48	△100
ROE（%）	5.7	—	—	0.8	—
1株当たり純資産（円）	2,136.20	1,896.36	1,862.61	1,926.77	1,973.35
期末株価（円）	1,085	1,153	1,120	1,159	1,133
PBR（倍）	0.51	0.61	0.60	0.60	0.57
配当性向（%）	36.6	—	—	133.7	—

2. 改善に向けた方針・目標

現状分析・評価を踏まえ、以下の戦略に沿って収益改善およびPBR1倍以上を目指します。

- 事業戦略：収益基盤の強化を図り、収益率・資本収益性の改善をはかる。
- 資本戦略：政策保有株式の縮減検討と安定的な株主還元の実施する。
- IR戦略：事業内容や戦略を株主・投資家の皆様にご理解頂く。

3. 具体的な取り組み

(1) 事業戦略

当社グループは、生活関連事業会社への転換を図るべく、非繊維事業の拡大に努めております。

今後も周辺事業や新規事業への挑戦、既存事業の収益改善(価格転嫁・品質改善・コスト削減)に注力することで収益基盤の強化を図ります。

(2) 資本戦略

政策保有株式は、事業戦略上の重要性、業務提携、取引の維持・強化及び株式の安定保有目的の合理性などを総合的に勘案し、政策的に必要とする株式については保有の方針ですが、株式持合い解消の流れのなか、取締役会などにおいて個別に保有の適否を検討し、保有先企業との対話を踏まえたうえで縮減を検討します。

また、事業活動や政策保有株式の縮減などで獲得した資金は、成長投資や株主還元に配分します。

成長投資は、人的資本の増強(人材の採用・育成、リスクリング)や生産管理システムの刷新などのDX投資により経営基盤強化をはかります。

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しており、安定的な配当政策の維持に努めております。引き続き、業容・業績拡大を実施しながら株主還元の充実を目指します。

(3) IR戦略

当社ウェブサイトを活用し、適時開示に基づく財務情報のほか、サステナビリティなどの非財務情報を含めた情報発信を充実させてまいります。

このような活動をとおして、株主・投資家の皆様に当社グループの事業内容・取組み・戦略などに対する理解を深めて頂くよう努めます。

以 上